

草津市立幼稚園就労支援型預かり保育事業

草津市の公立幼稚園では、「働きながら、我が子を幼稚園に通わせたい」という保護者の声にお応えし、平成26年4月から3園をモデル園として「就労支援型預かり保育事業」を実施します。

★事業概要

【実施時期】 平成26年4月から実施

【対象児童】 実施園に在園する4歳児・5歳児

【実施園】 市立山田幼稚園、市立玉川幼稚園、市立笠縫東幼稚園

【実施時間】 通常の保育開始前午前8時～8時30分および保育終了後午後4時30分まで
「夏休み」・「冬休み」・「春休み」は、午前8時～午後4時30分

課業日

8:00	8:30	14:00	16:30
預かり保育	通常の保育(担任)	預かり保育	

夏休み・冬休み・春休み

8:00	16:30
預かり保育	

【実施日】 「通常の保育のある日」ならびに「夏休み」、「冬休み」および「春休み」の期間中の月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

【定員】 各園20名

【想定保育料】 通常の保育料とは別に、月額7,000円程度

定員に空きがあれば1回400円程度で利用可能。ただし、月に11回以上利用される場合は月額7,000円程度

【職員体制】 幼稚園教諭または保育士の免許・資格を持つ臨時職員を雇用し対応予定

【その他】 H26年2月定例市議会で条例改正提案予定〔保育料等の改正〕

（保育料および職員体制等については今後調整予定）

★アンケート調査（H24.10）の結果

教育や保育に関する施策

① 待機児童を減らすために必要だと思う主な施策

【全体】

1 (59.9%)	2 (52.0%)	3 (30.2%)
保育所（0～5歳児全体）の増設	幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和	幼保一体施設の創設

- ・「保育所（0～5歳児全体）の増設」「幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和」が約5～6割と高くなっており、次いで「幼保一体施設の創設」となっています。
- ・幼稚園では「幼稚園の預かり保育の延長や条件緩和」が約5～6割と高く、特に公立幼稚園では最も高くなっており、「幼稚園の預かり保育」の拡充が待機児童解消に一定の効果があると考えられていることがうかがえます。

② 優先的に実施してほしい就学前児童に対する主な施策

【全体】

1 (51.4%)	2 (34.4%)	3 (20.8%)
幼稚園や保育所（園）にかかる費用の軽減	保育所（園）の数や定員増	1日4時間といったパート等短時間の勤務に対応する保育

- ・全般的に「幼稚園や保育所（園）にかかる費用の軽減」が最も高く、次いで「保育所（園）の数や定員増」が高くなっています。
- ・「幼稚園における預かり保育」は、全体で約2割ですが、幼稚園では約3割と高くなり、特に公立幼稚園で最も高くなっています。